

# 福岡女子大学 同窓会

第82号



# 筑紫海会会報



## 大学との絆を深めた 『同窓生ツアー』

「次は母校見学に行くことにしています」と熊本支部長さん。この声に「会員の思い」を聞いた気がしました。そこで、『同窓生ツアー』で「大学の現状」や「解体前の思い出の校舎見学」、「国際学友寮」など「見学」、「在校生とのふれあい」等々、取り入れてみました。

「かすみ祭」当日11月5日(土)に実行。あいにくの雨天のため、校舎見学は計画どおりにいかず、残念でした。大学関係者・在校生(留学生も)・同窓会会員との交流会、甲斐副学長の「新生福岡女子大学」のお話、盛りだくさんの企画でした。時間に追われましたが、たくさんの方々が得たような気がしました。企画、大学との折衝、当日の実行、「事業部」の方々に感謝です。

(筑紫海会会長 山本津弥子)

### 大学との交流会

午後は、大学との交流会です。学長、同窓会会長の挨拶の後、自己紹介と意見交換がありました。(抜粋)  
中尾綾子さん(かすみ祭実行委員長 英3年)  
かすみ祭を成功させようとかんがっています。女子大の未来を作るひりになっていけたらいいなあと考えています。



「かすみ祭」当日11月5日(土)に実行。あいにくの雨天のため、校舎見学は計画どおりにいかず、残念でした。大学関係者・在校生(留学生も)・同窓会会員との交流会、甲斐副学長の「新生福岡女子大学」のお話、盛りだくさんの企画でした。時間に追われましたが、たくさんの方々が得たような気がしました。企画、大学との折衝、当日の実行、「事業部」の方々に感謝です。

アニタ・リスチャ・イングルムさん(WJC留学生・インドネシア、ガジャマダ大学4年)  
日本の漫画やアニメが好きです。日本の伝統的な文化に興味を持っています。  
(問)福岡に来て一番感動したのはどんなことですか?  
(答)一番感動したのは山笠です。毎日見に行きました。追いつくのはカメラを持って前の日から櫛田神社の前で待つて見ました。福岡は第二の故郷です。  
大谷美枝さん(大5英)  
1954~57年在寮  
新しい寮を見てきました。私たちがこの寮に比

べてあまりの違いに驚いています。当時は木造平屋で4人1室。二段ベッドにタンスと机。上級生が気配りして仲よく生活していました。寮祭など楽しい行事もありました。朝・夕食は食堂で一緒に食事、お昼はお弁当が用意してありました。おしゃべりしながら楽しい時間でした。皆さんはどうしていらつしやるの?  
(答)寮は自炊ですので、寮にもどって食べたり、学生食堂で食べたりしています。  
瓜生桂子さん(専26生・大1英)  
未来のある皆さんにお会い出来てうれしいです。今この部屋の窓から立花山が見えています。私が学生のころはあの山がおにぎりに見えるほどお腹が空いていました。板付(福岡空港)から米軍の飛行機が飛びたつて、朝鮮の戦場に向かっていました。今、こうして平和な中で勉強をしておられる皆さんの姿に「平和っていいなあ」と思います。生きることは楽しい。平和はありがたいです。  
二羽喜代美さん(大18被)  
被服のクラスが消えてしまつたのはとても残念で寂しい気がしますが、これからの日本、これからの世界を担う人たちがだなおとなしく思っています。自分の国の文化を大切にしていってほしい。

## 福岡女子大学国際化推進基金 ご寄附ありがとう

790名 15,763,000円  
7団体 646,000円

3月31日現在  
(同窓会関係分)

募金は2年目に入りました。今後もよろしくお願い申し上げます。福岡女子大学公開講座(詳細は3面に掲載)に無料で参加できます。振込用紙を同封しています。通信欄のチェック項目を確認して払い込みをお願いします。

## 平成24年度 総会のご案内

平成24年度筑紫海会総会を開催致します。お誘い合わせの上ご参加下さい。

日時 平成24年5月27日(日)

受付開始 午前11時~午後3時

会場 西鉄グランドホテル

2階「鳳凰の間」

福岡市中央区大名2-6-60

TEL 092(771)7171

交通機関 バス 明治通り経由

西鉄グランドホテル前

地下鉄 天神2番出口

会費 7,000円(当日受付にて)

新会員(H24年3月卒業生)は

3,000円

尚、年次会費(3,000円)

も受け付けます

議事 (1) 平成23年度筑紫海会事業報告

(2) 平成23年度筑紫海会会計決算報告

筑紫海会監査報告

(3) 理事(4名)改選

理事選考委員会経過報告

旧・新役員紹介

(4) 平成24年度事業計画案

平成24年度予算案審議

(5) 参加者の感想

受け入れる心は共同部屋の

不便さの中で育まれること

もありました。個室であつ

てもコミュニケーションの

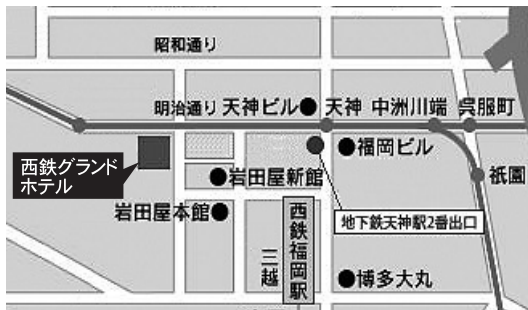
育成の場となるよう願つて

います。

「かすみ祭」をもっと見

ひ、ツアーを企画して欲し

い。(2面に続く)



## 波紋



支部長としてこの6年間に三回目の支部総会を開きます。支部の多くが人集めに苦慮しています。宮崎支部も例外ではありませんが、今年はずっと嬉しいお便りをいただいております。

「昨年3月末で退職しました。6月10日を楽しみにしております。」是非一度支部総会にも参加させていただけたいです。」等々お年賀状の添え書きです。

その一方で「なかなか出席できなくて申し訳ありません。介護の年代に入ってしまった。」支部総会いつも欠席で申し訳ありません。」と書いてくださった方もいらっしゃいます。私自身も初めて参加したのは、千葉より主人の郷里宮崎へUターンして8年目、同居の義父母の了解も得、子どもたちは社会人と高校生になった頃でした。当時話題の「ホテルオーシャン45」の42階で安い会費でお食事までいただけるといっつのが、恥ずかしながら一番の魅力でした。当時の天野支部長のお人柄に惹かれ、同じテールを囲んだ大先輩のご縁を得、その後はほとんど出席してまいりました。皆さまもどうぞお近くの支部へお出かけになってみませんか。

松本 君江(大18被)

宮崎支部



### 鈴木章先生の講演会

「ノーベル化学賞を受賞して 未来を開く化学」

主催 福岡女子大学 九州大学 西日本新聞社

鈴木章・北海道大学名誉教授の2010年ノーベル化学賞受賞記念講演会が平成24年2月23日、福岡国際ホールで開催された。総勢560人(高校生160人)は、鈴木先生の受賞に至る経緯や若者へのメッセージに目を輝かせて聞き入った。

先生は、発見したクロスカップリング技術が医薬品や液晶など幅広い分野で応用され、

数学が好きだった北海道大学時代に、33回も読んだという一冊の有機化学の原書が化学への道へ進むきっかけになったと話された。資源のない日本は科学技術によって高い付加価値をつける必要がある教科書に載るような独創的な仕事をしたい。その為には「自然を直視する謙虚な目」や「小さな物を見逃さない事」や「旺盛な意欲」が大事で、自分の好きな道を努力して邁進していれば幸福の女神が微笑むだろうと語られた。

(文責 中野)

私とディアさんはホストファミリーと一緒に正月をとても楽しく過ごし、両親は予想していた以上にとても親切な方でした。大みそかにはお寺へいき、元旦にはたくさんお正月の料理を食べました。両親は私たちに新年をくれました。これはスリランカでも同じで、両親は私たち(子ども)



WJC留学生の感想

ディアさん(スリランカ、ペラデニア大学) お正月体験はとて素晴らしい体験でした! 家族はとて優しく親切でした。一緒に門司港レトロ口へ行くと、古屋さんと一緒に人力車に乗りました。人力車には初めて乗りましたが、とても楽しかったです。本当に良い体験になりました。

お正月体験は本当に楽しかったです。一緒に料理を作ったり、お節料理をアレンジしたり、山に登ったりしました。元日に中野さんの親戚も来ました。親戚の子もたちとバドミントンをしました。楽しいことがいっぱいありました。この体験に参加してよかったです。また会えるのを楽しみにしています。



用され、ノーベル化学賞受賞。数学が好きだった北海道大学時代に、33回も読んだという一冊の有機化学の原書が化学への道へ進むきっかけになったと話された。

性を知り、国際感覚を養い、留学生にとっては日々の生活の中で日本文化や日本語を学ぶシステムになっていきます。キッチンも広々。料理は各人でしたり、みんなと一緒に食事ということも出来るようになっていきます。

同窓生ツアーの交流会がきっかけで、留学生に日本のお正月体験をしてもらいました。「留学生が寂しいお正月を送るのはかわいそうだ。我が家に来て日本のお正月を体験したらどうだろう。」そんな話をしていたら「面白そうね。家でも引き受けられるわよ。」と声を掛けてくださった方もありました。大学と話を詰めて最終的に希望者が把握できたのが12月下旬、希望者は6人でした。

ディアさん(スリランカ、ペラデニア大学) お正月体験はとて素晴らしい体験でした! 家族はとて優しく親切でした。一緒に門司港レトロ口へ行くと、古屋さんと一緒に人力車に乗りました。人力車には初めて乗りましたが、とても楽しかったです。本当に良い体験になりました。

お正月体験は本当に楽しかったです。一緒に料理を作ったり、お節料理をアレンジしたり、山に登ったりしました。元日に中野さんの親戚も来ました。親戚の子もたちとバドミントンをしました。楽しいことがいっぱいありました。この体験に参加してよかったです。また会えるのを楽しみにしています。

ホストファミリーはとて優しく、「時間がある時にはまたおいで」と言うってくれました。家族の中で長崎から来た人がいて、長崎に住む友達を紹介してくれて、私が長崎へ行った時には街を案内してくれました。また長崎においてと言ってくれたのです。ホストファミリーに出会えてよかった。私は彼らと一緒に楽しくお正月を過ごしました。また私にとって日本語を話すよい練習となりました。

### 「同窓生ツアー」(そのII)

### 参加者が楽しみにしていた 国際学友寮“なでしこ”見学

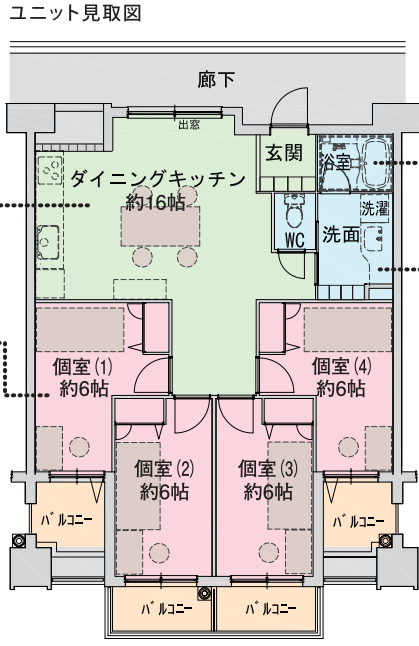
高級マンションを思わせるエントランスを抜け、一階の広い和室に案内されました。隣は行事のときなどに使う調理室とダイニング。玄関の横には各人にひとつずつのメールボックス。あまりのすばらしさに、一同おのぼりさん気分であたりをまわると、玄関はカードキーで開くよにならあり、民間委託の管理人が常駐セキユリティは万全です。4人一室のルームシェア方式で、各室に一人の留学生が入っています。日本人の学生にとっては文化の多様

管理人が常駐セキユリティは万全です。4人一室のルームシェア方式で、各室に一人の留学生が入っています。日本人の学生にとっては文化の多様

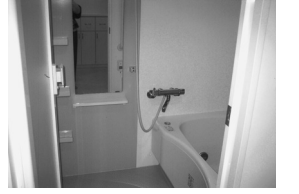


ダイニングキッチン 明るく開放的な16帖のダイニングキッチン。ルームメイトと楽しく料理や食事ができます。

個室 パルコニーに面して4つの個室があり、プライバシーにも配慮した間取りになっています。プライベートな時間を過ごすこともできます。



浴室 各ユニットに一つの浴室のほか、共用部分にシャワー室、浴室、洗濯室など別途に設置されています。



洗面 清潔感のある洗面所には、大型サイズのミラーとワイドな洗面化粧台が備えてあります。収納ボックスは人数分用意されているなど、細やかな工夫がされています。



### 日本の家庭でお正月体験!

同窓生ツアーの交流会がきっかけで、留学生に日本のお正月体験をもらいました。「留学生が寂しいお正月を送るのはかわいそうだ。我が家に来て日本のお正月を体験したらどうだろう。」そんな話をしていたら「面白そうね。家でも引き受けられるわよ。」と声を掛けてくださった方もありました。大学と話を詰めて最終的に希望者が把握できたのが12月下旬、希望者は6人でした。

1月26日(木)福岡女子大学の学生食堂において、学生の企画で留学生との交流会が開催されました。地域の方々、同窓会、教職員、WJC留学生、学部留学生、一般学生と多彩なメンバー250人が集まり、楽しい時間を過ごしました。この交流会は初めての企画

で、会場にはたくさんの方々が参加して、期待にあふれた笑顔が並び、留学生たち手作りの自慢料理が並びます。開会セレモニーの後、留学生による出し物の劇「ラーメン太郎」や日本人学生によるダンスの披露。国際色豊かな、学生たちの手作り料理と自己紹介ゲームとビンゴで盛り上がりました。



学生有志によるダンスの披露

※WJCとは WJCとは「The World of Japanese Contemporary Culture Program」の略称で、福岡女子大学の国際性を重視する国際文化学部発足を記念して創設された外国人留学生向けの短期留学プログラム。昨今、海外では日本のポップカルチャーへの関心が若者の間で非常に高い傾向にあることから、現代日本文化を中心として一年間学びます。23年度は26人のWJC留学生を迎えました。ちなみに4年間の一般留学生は22人在籍しています。

アニタさん(インドネシア、ガジャマダ大学) ハナさん(ベトナム、ベトナム国家大学ハノイ校) 中野宅(大17被) モナさん(ドイツ、ミュンヘン大学) 矢野宅(大10回)



ホストファミリーはとて優しく、「時間がある時にはまたおいで」と言うってくれました。家族の中で長崎から来た人がいて、長崎に住む友達を紹介してくれて、私が長崎へ行った時には街を案内してくれました。また長崎においてと言ってくれたのです。ホストファミリーに出会えてよかった。私は彼らと一緒に楽しくお正月を過ごしました。また私にとって日本語を話すよい練習となりました。



森崎和江さん講演会

(ノンフィクション作家・詩人・専18保)

### 『生き直しの旅をつづけて』

森崎和江さん

1月11日(水)、福岡女子大学地域連携センター主催特別講演会が、森崎和江さんをお迎えして開催された。

森崎さんは1927年(昭和2年)、当時植民地朝鮮(現韓国)慶尚北道大邱府の生まれ。1944年(昭和19年)金泉高等女子高を卒業後、福岡県立女子専門学校(現福岡女子大学)に入学・同校卒業。1950年詩人丸山豊主催の詩誌『母音』同人に参加。その後筑豊の炭鉱町で『サークル村』活動を経て、戦前に海外へ売られた女性を描いた『からゆきさん』などを著し、『女』『朝鮮』『いのち』といったテーマを掘り起し、執筆活動を続けられている。

戦時中17歳で一人海峽を渡り、福岡女専を受験。当時の女専は天神にあり、樋井川沿いの田舎で寮生活。日本人でありながら初めての日本生活、標準語で育った朝鮮時代と異なり寮生の使う日常会話の方言が聞き取れずとまどった思い出は強烈だったようだ。森崎さんの女専時代は日本の敗戦の混乱期と重なる。入学後半

で工場に学徒動員、翌年6月19日福岡大空襲、女専も焼失。学徒動員中罹患した肺の病気のため卒業後3年間佐賀の療養所へ。そこで詩作を続けられたという。講演終了予定時間を少し過ぎた頃「このへんでは話はやめていいかしら。何だかひとりじゃべつていいるとさびしくなるのよ」とおっしゃり、その後は参加者のさまざま質問にひとつひとつ丁寧に応えて下さった。

今回の講演で森崎さんは朝鮮の幼少期から順に自分の人生を紡ぎ直すように語られた。節目、節目に出逢った忘れぬ人々、その出逢いを真摯に受け止め、自分自身の生きる力とする過程をうかがうことができたように思う。(文責 迫田)

今井明副学長の紹介後、満場の拍手で迎えられた森崎和江さんは85歳。穏やかな笑みをたたえられ童女のような佇まいで今回のテーマ「生き直しの旅をつづけて」に沿って語られた。

「女子は炊事洗濯だけではだめだよ。勉強しなさい」と

親交のあった山本兵衛さんの絵と共に

昼食会の後は直方市の名所「大内庭園」に移動。広大な敷地に花菖蒲、紫陽花、ツツジなどが彩りを競って実に見事です。お座敷の金屏風の前にも花菖蒲が艶やかに置いてあり、皆で記念写真におさまり、抹茶を頂きながら和気藹々のひとときを過ごしました。

10月27日(木)西麻布「キヤード・ド・ひらまつ」にて東京支部の親睦会が行われました。同学年でまとめられたテーブルのあちこちで久しぶりの再会を喜ぶ声が上がりました。米寿を迎えられた篠原政枝さん(専17家)の御発声により乾杯。86名の参加者がおいしい料理とワインとおしゃべりを楽しみました。

### 筑豊支部だより

支部長 井上 壽子(大15回)



筑豊支部は平成23年度総会を6月12日「直方市いこの村」において開催しました。本部から山本津弥子会長が出席され、ご挨拶の中で新しい大学の様子や筑紫海会法人の現況報告を頂き、また新会長として同窓会活動に寄せる思いを親しく語られ、会員一同は更に母校への関心を深めることができました。議事として「福岡女子大学国際推進基金への寄付」を提案。審議の結果、支部として寄付金を拠出することが了解されました。

平成23年8月現在、筑豊支部の会員数は約200名

ですが、支部総会参加率はようやく一割を超える程度と少ないことが残念です。先日、何気なく聞いていたラジオから「...会はみんなです。自分も少し関わっているからこそ意義があり楽しい!」という言葉が流れてきて、妙に印象に残り、これなんだなあと、しきりに思っているこの頃です。流れを一気に変えることは難しいでしょうが、単純に「母校愛」という絆だけを頼りに、一人でも多くの方の参加を願って、今年の当番幹事の方々と、目下楽しい企画を練っているところです。

東京支部親睦会

## 平成24年度 福岡女子大学公開講座のご案内

「達者で長生き —運動・スポーツと健康づくり—」  
受講料 2,000円(全3回分)(高校生、本学学生無料) 10:30~12:00

回	日程	テーマ	講師
1	5/26(土)	「長寿社会と健康づくり」	金崎 良三 (福岡女子大学特任教授)
2	6/2(土)	「運動・スポーツとどう関わるか」	金崎 良三 (福岡女子大学特任教授)
3	6/9(土)	「自分でできる健康づくりのための運動」 実技指導を行います。	金崎 良三 (福岡女子大学特任教授)

「人と人とのつながり —九州・福岡のことばと歴史—」  
受講料 2,000円(全6回分)(高校生、本学学生無料) 13:30~16:15

回	日程	テーマ	講師
1	6/16(土)	「『あの世』と『この世』の関係史 中世日本に生きた人々と死者とのつながり」	渡邊 俊 (福岡女子大学講師)
		「ふるさとのことばと文化 九州・福岡の言語文化とその歴史をみつめる」	坂本 浩一 (福岡女子大学准教授)
2	6/23(土)	「漢詩人の文化活動と交流」	月野 文子 (福岡女子大学教授)
		「敬語表現の変化から見た人間関係の実態 待遇表現と文化とのかわり」	矢野 準 (福岡女子大学教授)
3	6/30(土)	「文学にみる『名所』のはたらき」	大久保 順子 (福岡女子大学准教授)
		「町の景色から読み解く多言語・多文化社会 福岡の言語景観」	橋本 直幸 (福岡女子大学講師)

《受講方法》 対象：高校生以上、性別不問

- 八ガキ、FAX、またはE-mailにて、受講講座名・住所・氏名・年齢・職業または高校名(学年)・電話番号を記入の上、右記へお申し込みください。申込受付者は全員受講できますので、受講票等の発送はいたしません。定員を設けている講座は先着順です。
- 乳幼児と共に参加の方は本センター職員までお問合せください。近隣の一時託児所の情報をご提供いたします。

「グローバル化時代の国際安全保障—台頭するインド・中国—」  
受講料 無料 13:30~15:00

回	日程	テーマ	講師
1	7/21(土)	「中国の成長をどう捉えるか?」 国際安全保障の視点から	パスマシリ・ジャヤセーナ (福岡女子大学准教授)
2	7/28(土)	「台頭する世界最大民主国家インド 日本の再生とアジアの安全保障へのカギになるのか」	パスマシリ・ジャヤセーナ (福岡女子大学准教授)

「必勝TOEIC!みるみる英語力アップ講座」 ※先着35名  
受講料 3,000円(全8回分)(高校生、本学学生無料) 13:30~15:00  
※受講にあたりテキストを用意・購入していただきます。

日程	テーマ	講師
8/5(日)から9/23(日)までの毎週日曜日	「必勝TOEIC!みるみる英語力アップ講座」 使用テキスト「TOEICテストのエッセンスを学ぶ」ISBN:9784764739192 税込1,995円 対象初心者、特にTOEIC 400~500点前後	石田 由希 (福岡女子大学非常勤講師)

◎11月以降の講座予定

「武者の世を切り開いた平清盛 —史学・文学からの考察—」  
11/10(土)~12/8(土)全5回 受講料 2,000円 13:30~15:00

「中国人講師による現代中国講座」  
11/15(木)~11/29(木)全3回 受講料 無料 13:00~14:30

※他にも特別講演会が開催される予定です。

詳細はセンターまでお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 福岡女子大学 地域連携センター 女性生涯学習研究部門  
〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1  
TEL/FAX: 092-661-2728(直通)  
TEL: 092-661-2411 FAX: 092-661-2420(代表)  
E-mail: rcle@fwu.ac.jp URL: http://www.fwu.ac.jp/rcle/

### 学校法人 筑紫海学園 だより

## 学校法人筑紫海学園の 解散に向けて

会報第81号において、幼稚園の閉園と学校法人の解散を平成24年3月31日に同時にお知らせしてまいりましたが、法人の解散を少し遅らせ事務処理を段階的に進めることになりました。幼稚園廃止許可認定書は平成24年3月31日付で受理しました。

3月20日、除幕式は4月22日の開学記念行事の第2部で行った。

学校法人筑紫海学園のこれまでの記録を収集し、写真を加え編集。秋ごろ完成



東日本大震災寄付金目録贈呈

予定。配布は同窓会会員、福岡女子大学学生・教職員関係者の予定。

教職員解雇問題  
平成22年7月、香椎幼稚園教職員8名(園長を除く)は労働組合「UIエゼンセン

同盟香椎幼稚園ユニオン」を結成したとの通知を受けました。第1回団体交渉(7月)、第6回(10月)では、組合員側は解雇を受け入れず、園の移転継続による雇用の継続要求でした。

22年10月には組合による県労働委員会に幹旋申請が出されるなど、混乱が続きましたが、第10回団体交渉から解雇を認め、退職条件に入りました。第15回団体交渉

今後、法人および筑紫海園の事務室の移転、園舎の撤去など、まだまだ大きな仕事が続きます。

(筑紫海学園理事長 上村 元子)

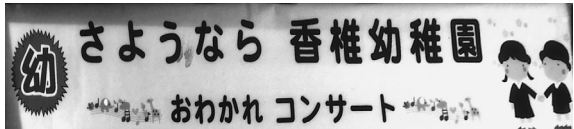
現在、法人の理事会が解散に向けて行っている事柄をお知らせします。  
つくしめ山荘跡地処分  
九重、約二千坪の土地、最終的に平成23年10月20日、一千五百万円で売却。  
東日本大震災への寄付金一千万円を宮城県私立幼稚園連合会に寄付。  
平成24年2月15日、連合会理事長村山十五氏が香椎幼稚園に来園。園長、理事長会いのもと当法人理事長より目録を贈呈し、即日、銀行振り込み終了。  
記念碑の建立  
学校法人筑紫海学園「香椎幼稚園、つくしめ山荘」を記念して碑を建立。記念碑は彫刻家中村晋也氏(平成19年文化勲章受賞)の「[Serene 命よ]」と題する女性像に決定。設置は福岡女子大学キャンパス、大学会館前広場。建立は平成24年

## 閉園を迎えて

園長 田北 和子 (大23理)

### 香椎幼稚園

1955 - 2012年



香椎幼稚園は昭和30年から57年がたち、3月末日で閉園を迎えました。昭和61年より毎年行われてきた三木先生ご夫妻の演奏による「母と子のコンサート」が今年はお別れコンサートになりました。

関係者の方々が多数来てくださり、寂しくも心暖まるものになりました。3月15日(木)は24名が卒園し、19日(月)は9名が終了式を終えました。香椎幼稚園の思い出が5000名あまりの卒園生、その保護者の方々それぞれにあり、子どもたちの笑顔、流した涙、つぶやいた一言は本場に大切な宝物です。57年続いた香椎幼稚園の教育は子どもたちの心の中どこかに必ずや残っていて、次の世代に繋がってきいていると信じています。

これまでお世話になりました同窓会や地域の方々、保護者の皆様に感謝申し上げます。

## 「食へる」ことは生きること

村上祥子 クッキングスタジオ潜入記



「食へる」をテーマに、様々な食育活動に取り組みされている料理研究家 村上祥子さん(大11食)。かつて15年に渡り、こども女子大で栄養指導実習講座を受け持たれていた。村上さん主宰の福岡クッキングスタジオに、体験入学させていただいた。

2月11日(土)、福岡の空は晴れ。我々広報担当2名、少々緊張を覚えずつつも好奇心いっぱいである。はたして、ターコイズブルーの扉の向こうは...別世界!!

なんて素敵な空間だろう! 明るい室内、美しい調理器具・食器類、磨き上げられた広いキッチン、テーブルセッティングに至るまで実にムダなく、調和した空間である。その中で、ひときわキビキビと立ち動いていらつしやる華奢な婦人が、村上祥子さんであった。

さて、まずは本日の趣旨である料理教室入門編を。2月のメニューは「節分」をテーマにした内容となっている。粕汁小椀を始めとした全八品。なんとデザートは「シヨートケーキ」まで作りしようというもの。

「これだけの品数を...たった2時間で大丈夫?!」という心配は無用である。生徒さんは、エプロンの代わりに紙と鉛筆を持ってスタンバイを。

下ごしらえされた食材が、先生の手で手際よく調理され、見事な完成品となる様子を、どうぞ間近でご覧あれ! フムフム、なるほど、8品出来上がる頃には、

なぜかすっかり自作気分である。(あんな「魔法の手」があったらいいな...)

## 「食へる」ことは生きること

村上祥子 クッキングスタジオ潜入記



そして是非お伝えしたいのが、村上さんのライフスタイルである。実は教室の始まる前に、「3階のオフィスと自宅の見学をどうぞ」と声をかけていただいたのだ。こちらがワクワク、興味津々である。

良き理解者・協力者でいらつしやるのがうかがえる。ご主人から、丁寧なガイダンスをいただいた。圧巻は四千冊のバインダーが整然と並んだ資料コーナー。これが、テレビや雑誌でのご活躍を支えるデータベースである。

村上さんの類稀な勤勉さそして50年という歴史が圧倒的な迫力で迫ってくる。また一方そのスマートなライフスタイルには、一種カルチャーショックを受けた。キッチン、寝室、クローゼットに至るまで、全てがシンプル。いや、きっとこれは「シンプル」という言葉の範疇には収まらない。多種

ち込むことが重要です。大正12年に、福岡県立女子専門学校として創立された本学は、「なでしこ」が校章となり、現在まで受け継がれています。この間、幾多の変遷を経ながらも、素晴らしい伝統を絶やすことなく、目覚ましい発展を遂げてきました。

そして一年前、また新しい発展を遂げました。新学部、国際文学部開設です。皆さんは、その第二期生です。新学部が着実に発展していくよう、力を合

最後に今後の目標をお尋ねすると、すぐに、「40万点を超すレシビを鋭意選別し、モバイルサイトに配信すること。」というお返事が返ってきた。「老若男女、どんな条件下にあっても、誰もが手軽に料理を作れるよう応援して行きたい。シンプルに、でも美味しく、食へることは生きること!ですから。」

この日も、アメリカカロザンゼルズで開催された、農水省主催の「Japanese Food & Sake Collection」での「日本型食生活」講演を終えて帰国されたばかり。東京へ、海外へと超多忙な日々を送りつつ、三歳児教室、介護食...と、次々に高くて新しい目標をクリアされる村上さんのパワーは、古希を迎えてなお進化しているようだ。(文責 原田)

これまでに出版された260冊の著書の中より村上さんお薦めの近著3冊「ふたりのおいしい介護食」「新・冷凍保存のコツ&おかしレシピ」「2時間でできる!1週間分の作り置きおかず」をぜひ読んでみてください。皆さんの意欲あふれる努力により、学生生活が有意義で充実したものになることを願って、歓迎の辞いたします。

